

野津田町内会たより No.31

発行所 野津田町内会公民館
発行人 町内会長 青木 勲
FAX 042-860-5368

2022年12月10日

野津田町内会と各自治会等について

野津田町内会は、歴代町内会長の写真の記録によりますと、明治35年4月萩生田又吉氏が初代の会長となられ、今の青木会長が26代目の町内会長となります。

現在の町内会規約は昭和47年4月から何度か改正をして、現在に至っていますが、昨今の情勢から町内会規約や細則について、実情に合わせた見直しを始めたところです。

野津田には12の地区がありまして、その内8つの地区には自治会や自治会に類する会があります。その理由は、野津田町内の世帯数が何十倍となり、細かな会員コミュニケーションが出来なくなり、各地区に自治会が順次出来て来たものと考えられます。すべての自治会では、二つの会費を払うことになり、会員の皆様に混乱と不満を与えているようです。そこで、さる9月10日に「町内会と自治会の関係」と「今後の野津田町内会の在り方」を、考えるために各地区の自治会長様と町内会代表との意見交換会を行いました。

参加くださった皆様の問題意識は、ほとんど同じでした。会員数の減少や理事や班長の受け手が少なく、人選に苦慮されています。またコロナの関係もあり地区のコミュニケーションがはかれないなど、いろいろでした。

青木会長を初め現役員は、自治会と連携を一層深めて、より住みやすい野津田町にするために、町内会規約の改定も含めて見直しをしていく考えています。地区自治会役員の皆様の、ご理解ご協力をお願いいたします。

副会長 藤川宣男

災害時の携帯トイレをご活用ください

NHKの「防災・復興 明日をまもるナビ」で紹介された「今すぐ準備したい10の備蓄品」には、以下のようなものがあげられています。水、食料、カセットコンロ・ガスボンベ、スニーカー、充電式の掃除機、携帯ラジオ、懐中電灯・ランタン・ヘッドライト、水のいらないシャンプー、スイーツ缶に、携帯トイレを加えた10品です。日本トイレ研究所の加藤さんによれば、「トイレが嫌で水分をとらなくなると病気のリスクが非常に高まります。脱水すると体温が下がり、血圧は上がります。最悪の場合、脳梗塞、心筋梗塞」になるリスクもあるとのこと。携帯トイレは、備えておきたい一品といってよいでしょう。このたび、野津田町内会では、東京都の「防災対策普及啓発事業助成金」の交付決定を受け、携帯トイレパックを購入しました。町内会加入全世帯に配布することになりましたので、災害時の備蓄品としてぜひご活用ください。

副会長 石阪督規

町内会のホームページを開設しました。

町内会からのお知らせや各種様式、町内会たよりをホームページから御覧いただけます。また、町内会へのご意見、ご要望等ございましたら、お問い合わせフォームをご利用ください。スマートフォンをご利用の方はQRコードでも御覧いただけます。会員のみならず、ぜひ一度、ホームページにお越し下さい。なお、システムの都合上、Googleなどの検索ソフトでは利用できないため、下記URLまたはQRコードをご利用下さい。

<https://machida-nozuta.jimdofree.com>

<https://machida-nozuta.jimdofree.com/>



下期町内会費徴収のご報告

会計担当 石坂 勝

下期町内会費集金へのご協力、ありがとうございます。

野津田町内会員の皆様、日頃より町内会の活動にご協力いただき誠にありがとうございます。10月中旬頃より徴収して頂きました町内会費ですが、現段階で1,407軒の集計が済んでおります。一部地域で集計の済んでいないところも有りますが、来月の報告とさせていただきます。

これからも、頂いた会費を有効に使い町内会の活動に役立てて行きたいと考えています。

各理事並びに班長の皆様方、今後とも集金や回覧配布等、これからもよろしくお願いいたします。

会計担当 石坂 勝



pona.jp - 24381120

ちいきトピックスー川島自治会

川島自治会長 中溝一男

ここ数年、新型コロナの影響によって防災関係の行事が中止されて来ました。私達は、防災に対する認識と心構えを絶やさない事が大切だと考え、10月23日(日)川島自治会館において、初期消火訓練を地元消防団の指導の下実施致しました。当日は、天候にも恵まれ19名(役員等を含む)が参加し、初期消火の重要性や消火器の取扱いの説明を受けた後、消火器を用いた消火訓練を参加者全員が体験致しました。終了後の講評では、消防団から良い訓練が出来ましたと報告がありました。また、参加者からも「良い体験が出来た」と好評でした。

今後も、引き続き防災に対する取り組みをして行きたいと思えます。



地区防災のお知らせ

避難施設開設訓練の補講訓練をしました

防災会長 堀 秀彰

前号でもお伝えいたしましたとおり、10月16日(日)に鶴川第一小学校にて避難施設開設訓練に参加しました。この訓練を受け、町内会理事会では参集から避難施設までの移動訓練も必要であろうと考え、11月27日(日)に実施しましたので、ご報告いたします。

当日は、震災が実際に起こったという状況を想定し、参集時の情報共有や班分けの後、実際にヘルメットも着用の上、公民館から鶴川第一小学校と鶴川中学校の2班に分かれて徒歩による移動訓練をしました。

赤い町内会ベストを着て、ヘルメットをかぶった人達が歩いている姿を見かけられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

実際に歩いて、様々な想定、想像をすることで、日頃気付かなかった危険箇所に目が行き、改めて訓練の必要性を感じました。

約1時間30分ほど掛けて往復歩行した後、公民館駐車場にて相互情報交換し解散となりました。

訓練は、消火訓練や設置訓練等、部分的な訓練が多くありますが、今回のような関連付けた補講訓練はあまりありません。今回の取り組みでは、その大切さに気付くことが出来たと感じました。



皆さんで、町内会仲間(会員)を増やしましょう。

現在の町内会入会率は、約50%です。地域内の交流促進、環境整備、災害時の組織的行動など、行政側(市)は、町内会を窓口としています。ご近所へ、お声がけを宜しくお願いいたします。